

01

傷んだプラグやコンセントは使わないようにしましょう。

感電やショートの原因になるので、傷んだプラグやコンセントは取り替えましょう。またタンスや冷蔵庫などをプラグに押し付けないようにしましょう。



02

ときどきプラグを掃除しましょう。

長期間プラグを差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの間にほこりがたまり、湿気をおびるとプラグが突然発火することがあります。これをトラッキング現象といいます。火災の原因になることがあるので、プラグはときどき乾いた布などで掃除をしましょう。



03

プラグはコンセントにしっかりと差し込みましょう。

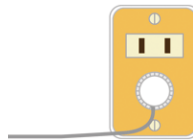
プラグがゆるんでいると、加熱するおそれがあり危険です。プラグはしっかりと差し込みましょう。



04

アース線を取り付けましょう。

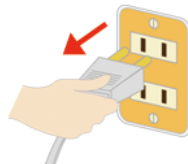
洗濯機や衣類乾燥機、エアコン、電子レンジ、冷蔵庫などにはぜひアース線を取り付けましょう。アース線は漏電した電気を大気に逃がし、感電などの危険を防ぎます。



05

熱を発生する電気器具は、使ったあと、必ずプラグを抜きましょう。

アイロンやドライヤーなどはスイッチは切り忘れると火災の原因になるおそれがあるので、使ったあと必ずプラグを抜く習慣をつけましょう。



06

ぬれた手でプラグをさわると危険です。

ぬれた手でプラグやスイッチをさわると感電するおそれがあります。よく手をふいてからあつかいましょう。



07

コードをひっぱらないで！

コードが傷んで断線や過熱の原因になるので、必ずプラグを持って抜きましょう



08

コードは正しく安全に使いましょ

う。くぎやステーブルでとめると、コードが傷んで断線や過熱の原因になります。また、コードを束ねると過熱するおそれがあるのでやめましょう。



09

タコ足配線に気をつけましょう。

テーブルタップの容量を超えて、一度にたくさんの電気器具を使うと過熱して危険です。器具が増えたらコンセントも増やしましょう。



10

コードが家具などの下敷きになっていませんか？

コードが傷んで過熱し、火災などの原因となる場合があるので、気をつけましょう。

